

土木構造物の維持管理技術研修会

「調査・診断/補修・補強 “ニューテクの今”2022」

－ 第23回技術研修会 発表技術の募集案内 －

主催：一般社団法人日本構造物診断技術協会
構造物診断士会

一般社団法人日本構造物診断技術協会構造物診断士会では、「調査・診断/補修・補強 “ニューテクの今”2022」と題して技術研修会を開催いたします。

つきましては、皆様方が保有されている鋼構造物あるいはコンクリート構造物の維持管理に関連する技術をご紹介、発表していただきたく募集しますので、ご案内申し上げます。

当会では、技術力向上と実務者相互の情報交換のためにコンパクトな技術交流の場を提供することを目的として2011年に第1回目の技術研修会を開催したところ、多くの方々にご好評を得ることができました。その後この研修会を“ニューテクの今”と題してシリーズ化し、2021年の研修会まで22回開催（コロナ禍で20回、21回は中止）してまいりました。

是非とも皆様方が保有される技術を研修会でご紹介いただき、情報交換および販売普及の場としてご活用いただければ幸いに存じます。なお、この研修会は土木学会の継続教育制度（CPDプログラム（建設系CPD協議会に認定））の認定を申請します。また、発表技術の紹介資料を当協会「構造物診断士会」のホームページに掲載いたします。なお、発表会場では新型コロナウイルス感染を防止するための対策を講じ、安心して発表していただけるように配慮いたします。

研修会開催日時：2022年5月18日（水）（発表時間等は別途ご案内）

研修会開催場所：埼玉県川口駅前市民ホールフレンジア（JR川口駅に隣接）

発表技術内容：鋼構造物およびコンクリート構造物を対象とした技術

- ① 調査・点検技術分野
- ② 診断技術分野
- ③ 補修技術分野
- ④ 補強技術分野
- ⑤ 保守技術分野

発表技術の選考：応募件数が多い場合は、所定数を構造物診断士会にて選考しますことをご了承ください。今回の選考にもれた応募技術は、次回以降の優先候補とさせていただきます。

発表の形態：1) 1件の発表時間は20分程度を予定しています。

2) 発表と同時に紹介技術に関する実物等によるデモンストレーションを実施していただいても結構です。デモンストレーションは演台前でWebカメラによる実物模型紹介や実演などを予定しています。

3) 聴講者数は約120名を予定しています。

4) インフラ維持管理に関する著名な方の「特別講演」も実施します。

応募締切：2022年1月末日まで。発表要領は改めてご連絡します。

申込方法：添付の申込書に必要事項を記入し、協会事務局あてメールにてお申し込みください。

※発表技術1件につき展示協力費として1万円（発表者1名分の聴講参加費を含む）のご協力をお願いいたしますので、ご了承ください。

※次頁に過去2回分の発表題目などを添付します。

以上

＜“ニューテクの今”過去2回分の発表技術＞

① 第19回 “ニューテクの今”2019秋

| 2019年11月22日開催 | | | |
|---------------|---------------------------------|--|------------------|
| 紹介技術 | ① | 3D データの利活用～国内外の建造物の維持管理事例～ | 大鐘測量設計株式会社 |
| | ② | 打撃力センサ内蔵自動インパクト（打音検査モジュール）の紹介 | 株式会社トーキン |
| | ③ | 光の力を使ってサビ・塗膜・有害物質を除去する『CoolLaser®』 | 株式会社トヨコー |
| | ④ | コンクリート充填ウォッチャー | 株式会社 高環境エンジニアリング |
| | ⑤ | 先行床施工式システム吊足場「クイックデッキ」 | 日綜産業株式会社 |
| 講演 | 特別講演 インフラメンテナンスにおける AI 活用の展望 | 東京大学大学院工学系研究科 総合研究機構 i-Construction システム学寄付講座 特任准教授 Ph.D. 全 邦釘 | |

※第20回、21回はコロナ禍で中止

② 第22回 “ニューテクの今”2021初夏

| 2021年6月18日開催 | | | |
|--------------|----------------------------|---|------------------------------------|
| 紹介技術 | ① | 磁気ストリーム法による橋梁の PC 鋼材破断検査法(Senrigan) | コニカミノルタ株式会社 |
| | ② | 遮蔽型マクロセル腐食対策技術 | 遮蔽型マクロセル対策工研究会 |
| | ③ | 電源不要で変位・応力・荷重等のデータをスマホで確認可能な技術 | CACH 株式会社 |
| | ④ | 支承部品の落下防止対策用ネット及び組紐 | 前田工織株式会社 |
| | ⑤ | AI 橋梁診断支援システム Dr. Bridge および I-BIMS | 株式会社日本海コンサルタント (コロナ禍で会社都合により見送) |
| 講演 | 特別講演 維持管理に関する調査研究を振り返って | (前)土木研究所 理事 先端材料資源研究センター センター長 渡辺 博志 | |

敬称略